

国語科 3年

「石垣りんさんの思いを写真にのせて、平和の尊さを伝えるためのポスターを作ろう」(「挨拶」石垣 りん)

担当 名前高橋 舞

【活動の目標】

作者が詩に込めたメッセージを読み取り、見る人に最も効果的に作者のメッセージを伝えるために3枚の写真の中から1枚選びその写真を選んだ理由を考えることを通して、現代社会の状況と重ね合わせながら自分の考えを述べるができる。

【 問 い 】

- ・3枚の写真から1枚選びその理由を考えることで筆者のメッセージと現代社会の状況を重ね合わせる。
- ・なぜその写真を選んだのかを他者と共有することで、自身の考えを再構築する。

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
A1 教師による教材の提示 使用する3枚の写真をスクリーンに映し出すと共に個人に配信し見ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する写真を拡大印刷し黒板に貼る。</li> <li>・個人に印刷をし、配布する。</li> </ul>
B4 表現・制作 作者のメッセージに合う写真を選び、最も効果的に筆者の思いが伝わる工夫をしたポスターを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を印刷し、手書きで詩を書かせポスターを完成させる。</li> <li>・ポスターを完成させるための構想を立てさせその過程を評価として使用する。(作品作りを行わない)</li> </ul>
C1 発表・話し合い 完成したポスターを用いて評価し合う。印刷などは行わずに ICT 機器を用いて交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成したポスターの現物を用いて交流を行う。</li> </ul>

【資料】生徒が作成したレポート



【ICT 機器を活用する良さ】

- ポスターを簡単に再構成することができ、書き直しの時間がかからない。
- 手書きに比べて完成したものがキレイな形で残るので掲示などをした時に見栄えがいい。
- 作品を交流する時に、クラスが一斉に同じ作品を見ることができる。
- 作成のための指示を ICT 機器に投稿しいつでも見られるようにしておくことによって、家庭で仕上げた子や欠席した子も取り組みやすくなる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・作品を完成させることに重点が置かれてしまい、本来国語科の中でつけたたい力が生徒の中で意識が薄くなるように感じる。そのため、本来の目的をしっかり理解させる授業を行い、ポスターの見栄えなどではなく、評価する観点を明確にした上で作品作りをさせる必要がある。

